

保育所の自己評価

栄区 エミールの森ひよこ保育園

項目	評価
1、園の教育理念・教育方針	
① 子どもの人権に十分配慮するとともに互いに尊重する心を育てる	A
② 児童福祉法の理念に基づき、子どもの最善の利益を尊重する園の方針を明文化している	A
2、子どもの発達援助	
① 子どもが健康に生活する場となっている	A
② 子どもが自己決定権を持ち自己活動できる環境の確保をしている	A
③ 子どもの発達の順序性や連続性を踏まえ長期的な視野で計画、実践、記録をおこなっている	A
④ 1年間の子どもの成長を振り返り、保育課程を評価している	A
⑤ 園の保育課程は、社会状況や幼児の実態、地域性を考慮しながら必要に応じて見直しを行っている	A
⑥ 保育所全体で子ども観、発達観を共有する場を持ち確認しながら取り組んでいる	A
⑦ 保育における養護と教育の一体化がなされている	A
3、保護者支援	
① 子供の成長の喜びを共有するために保育内容等の説明や応答責任を果たしている	A
② 虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な行動及び対応に心がけている	A
4、地域における子育て支援	
① 地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を生かしたサービスの提供をしている	B
② 行政や専門機関と連携し、地域性に応じた子育て支援をしている	B
5、保育を支える組織的基盤	
① 配慮を必要とする子どもの対応について環境及び保育内容の整備が明確になされている	A
② 異年齢の子どもが自然に交流できるような環境構成となるようにしている	A
③ 「食を営む力」の育成に向けその基盤を担っている	A
④ 施設内外の安全、衛生管理の維持向上に努めている	A
⑤ 職員は自らの実践を振り返り評価し専門性の向上や改善に努めている	A
⑥ 保育所全体の内容についてPDCAのサイクルを利用し自己評価をおこなっている	A
⑦ 研修に対して基本姿勢が示され、研修体制が整備されている	A
6、保育を支える組織的基盤	
① 保育の実施と運営上の根拠となる基本的な法令を理解し遵守している	A
② 苦情解決制度の仕組みが確立され、保護者に周知されると共に機能している	A
③ 個人情報の取り扱いはガイドラインに基づいて実施されている	A
④ 経営層は役割と責任を理解し質の向上に意欲を持ち指導力を発揮している	A